

平成24年度決算

の概要をお知らせします

一般会計（歳入合計178億8,756万円 歳出合計169億9,997万円）

	項目	項目の解説	決算額	増減率 (対前年度比)	構成比
歳入	市税	市民の皆さんに納めていただいた固定資産税や市民税など	62億3,719万円	0.2%	34.8%
	繰越金・繰入金・諸収入など	前年度からの繰越金や、基金からの繰入金、使用料、手数料、負担金、その他の収入	19億2,741万円	△15.2%	10.8%
	自主財源の合計		81億6,460万円	△3.9%	45.6%
	地方譲与税など	国の税金から一定の基準に従って、譲与されたお金	7億4,960万円	△5.8%	4.2%
	地方交付税	市の財政状況に応じて、国の税金から交付されたお金	45億1,019万円	△7.8%	25.2%
	国・県支出金	市の事業に国や県から交付されたお金	31億5,927万円	△1.0%	17.7%
	市債	市が公的機関や銀行などから借り入れたお金	13億 390万円	△10.5%	7.3%
	依存財源の合計		97億2,296万円	△5.9%	54.4%
	歳入（自主財源+依存財源）の合計		178億8,756万円	△5.0%	100.0%

	項目	項目の解説	決算額	増減率 (対前年度比)	構成比
歳出	議会・総務費	議会の運営や市の一般的な事務に使われたお金	17億8,166万円	△19.9%	10.5%
	民生費	子どもや高齢者など、主に福祉に使われたお金	47億8,263万円	3.1%	28.1%
	衛生費	健康を守ることや、ごみの処理などに使われたお金	13億 330万円	5.4%	7.7%
	農林水産業費	農林業の振興などに使われたお金	5億8,865万円	24.2%	3.5%
	商工・労働費	観光振興や商工業の発展、労働者福祉などに使われたお金	7億6,641万円	△16.0%	4.5%
	土木費	道路や橋、公園などに使われたお金	25億6,275万円	△3.4%	15.1%
	消防費	消防活動や救急活動に使われたお金	5億4,426万円	△12.3%	3.2%
	教育費	公民館や小中学校、文化活動などに使われたお金	21億 268万円	△28.1%	12.4%
	災害復旧費	被災した公共施設などの復旧に使われたお金	3億3,226万円	457.0%	1.9%
	公債費	借り入れたお金の返済に使われたお金	22億3,537万円	△1.6%	13.1%
	歳出の合計		169億9,997万円	△5.6%	100.0%

一般会計決算の特徴

歳入

- ◆市税は前年度並みとなったものの、国からの地方交付税が大幅に減額となりました。
- ◆大型の建設事業などが完了したことから、それに伴う国・県支出金や市債が減額となりました。

歳出

- ◆土木費は、前年度に大型事業（新東根公民館建設など）が完了したことなどから減額となりました。
- ◆教育費は、平成24年度に大規模な小学校耐震改修事業が無かったことなどから減額となりました。
- ◆災害復旧費は、凍上災（低温による道路舗装の破損）の発生により大幅増となりました。

市民一人当たり換算すると…（平成25年3月31日現在の人口 47,283人で算出）

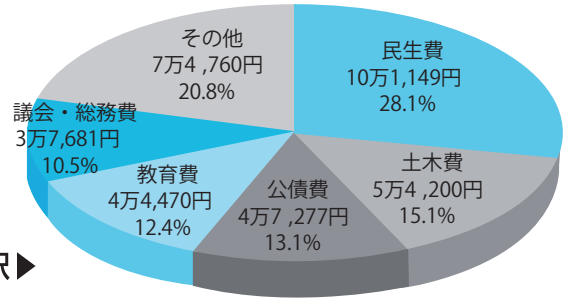
市民一人当たりの納めた市税の額

13万1,912円（昨年度13万2,627円）

市民一人当たりの行政サービスにかかった額

35万9,537円（昨年度38万3,943円）

市民一人当たりの行政サービスにかかった額の内訳▶



特別会計（特定の歳入があり、一般の歳出と区別する必要がある事業の場合に設置される会計）

特別会計の種類別	歳入決算額	増減率 (対前年度比)	歳出決算額	増減率 (対前年度比)
国民健康保険	46億8,689万円	4.5%	46億8,488万円	4.5%
東根財産区	213万円	13.3%	94万円	40.3%
公共下水道事業	22億1,561万円	4.8%	22億1,534万円	4.9%
一本木土地区画整理事業	274万円	△50.0%	274万円	△50.0%
介護保険	29億1,686万円	8.3%	29億1,680万円	8.4%
市営墓地	504万円	8.2%	401万円	△5.2%
後期高齢者医療	4億972万円	5.7%	4億858万円	5.8%

企業会計（原則として、提供するサービスに対する料金で運営される会計）

企業会計の種類別	収入決算額	増減率 (対前年度比)	支出決算額	増減率 (対前年度比)
水道事業（収益的）	10億7,910万円	2.2%	8億3,241万円	4.6%
水道事業（資本的）	2億6,034万円	38.3%	9億6,260万円	31.2%
工業用水道事業（収益的）	1億9,170万円	△4.4%	9,380万円	16.4%
工業用水道事業（資本的）	0円	-	6,778万円	△77.6%

※資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、損益勘定留保資金や建設改良積立金、消費税および地方消費税資本的収支調整額などで補てんしました。

特別会計・企業会計の決算の特徴

- ◆国民健康保険特別会計 高齢化の影響などに伴う給付費や負担金等の増
- ◆一本木土地区画整理事業特別会計 事業の清算に伴う縮小（平成24年度で終了）
- ◆介護保険特別会計 報酬単価の改定や要介護認定者の増加による給付費の増
- ◆水道事業会計 補償金免除繰上償還の実施による事業費の増

指標で見る財政事情

指標	項目の説明	平成24年度		平成23年度 (東根市)
		東根市	県内13市平均	
財政力指数	地方公共団体の財政力を示す指数。1に近い、あるいは1を超えるほど財政に余裕がある。	0.54	0.46	0.54
経常収支比率（%）	地方税や地方交付税などの経常的歳入に対し、人件費や公債費などの経常経費の占める割合。この比率が低いほど財政に弾力性がある。	87.8	89.8	85.3
実質公債費比率（%）	これまで借り入れたお金の返済額などの水準を計る指標。18%以上で起債に許可が必要となり、25%以上で一部の起債が制限される。	13.2	13.3	13.8
将来負担比率（%）	公営企業、土地開発公社などを含めた将来負担すべき負債を、一定の基準で算出した地方公共団体ごとの財政規模で除した割合。350%以上で早期健全化策が求められる。	53.1	96.7	70.2

東根市の数値は、県内平均と比較しても健全な数値となっています。